



NPO法人 底上げ

年間活動報告書

2013年4月～2014年3月



目次

ご挨拶 ————— 3

数字でみる『底上げ』の取り組み — 4

底上げのプログラム

学習コミュニティ支援 ————— 5

底上げ Youth ————— 6-7

農業部 ————— 8

その他の活動 ————— 9

2014 年度活動予定 ————— 10

底上げ関係者のメッセージ ————— 11、13

メディア ————— 14

収支報告・助成・寄付団体 ————— 15

底上げについて ————— 16

一年間の活動報告書ができました。
改めて振り返ると、多くの方に支えられ活動できた一年となりました。

なかでも、気仙沼の高校生からなる高校生学生団体、「底上げ Youth」の活動（8～9ページ参照）は予想以上のものとなりました。

7人でスタートした活動が少しずつ輪を広げ、現在メンバーは30人。それぞれが気仙沼に対し何ができるかを考えて活動しています。そのユニークな取り組みは、NHKをはじめとした主要メディアに紹介されました。また、地域の課題に取り組む高校生が自分たちの活動内容をプレゼンテーションするコンテストにも出場。全国から集まった高校生の中で、底上げ Youth のプロジェクトが先駆的ロールモデルとして「総合一位」「高校生特別賞」の二冠を受賞しました。

誰かに評価される事ももちろん大切な事ですが、本質的に嬉しい事もありました。活動に参加する高校生が「気仙沼がきれいだったけど、活動を通して気仙沼が好きになった」と語るようになったことも、その一つです。

これまで活動を続けられたことは、保護者の方をはじめ地元の方々温かい応援があつたからこそだと思っています。

「きれいな地元、気仙沼」から「大好きな気仙沼へ」

震災から3年が経過し、思うように復興が進んでいないと言われる今だからこそ、ひとりひとりが「できること」を行なっていくことで、地域の活性に繋がればと願わんばかりです。

まだまだ。コレから。

二〇一四年五月吉日
NPO 法人底上げ代表理事
矢部寛明



Hiroyuki Yabu
矢部 寛明

NPO 法人底上げ 代表理事

2011年早稲田大学を卒業。
震災後、内定先の会社を辞退し気仙沼入り。
物資支援、被災地区にあったホテルの再営業支援、学習支援を行う。現在は、東北、気仙沼を中心に「何かしたい」と強く思う若者をサポートし、イノベーターを数多く育成、輩出している。
座右の銘は「行動はメッセージ」



数字でみる NPO法人 底上げの取り組み

※期間 2013年4月～2014年3月

『底上げ』の数字

スタッフの移動距離

10万 8379 km

地球 約 2.5 周



活動における底上げカー走行距離

16万 350 km



矢部と成宮の相談通話回数

1,056 回

約 88 回/月



ボランティア受入れ延べ人数

1,057 人



Facebook いいね数

2,657

{ 本部 750
Youth 1688
農業部 219



全国高校生
MY PROJECT AWARD 2013

総合 **1** 位



気仙沼の数字

かさ上げする面積

74.3ha

東京ドーム 15 個



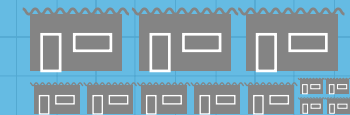
最低賃金

696 円



仮設住宅の数

3,504 戸





学習 コミュニティ 支援

放課後に子どもたちが自主的に集まり、
学習を行い、子ども同士または子どもと
大学生などのボランティアが交流するこ
とができる環境作りを行っています。



Kazuki Miyamoto

宮本 一輝

19才

底上げインターン

学習コミュニティ支援で僕が感じたのは、多くの子どもたちが自分の居場所や、話し相手になってくれる大人を求めているというものでした。学校や家庭以外にも自分の居場所ができ、それが子どもたちにとってより良いものになればいいなと思いました。



底上げ Youth

地元気仙沼の町づくりを高校生の視点から考え、伝え、実際にアクションを起こすという活動。現在「恋人」という言葉を世に広めた気仙沼市出身の歌人、落合直文に注目した『恋人ツアー』を実施中。



Messages



Hatake Mutsushiro

松下 初男

たこよし

成宮さんのサポートを大切に。せっかくやっていることなので続けていってください。夢をもって、やる気をもって若さを武器に頑張ってください。おっちゃんも頑張ります。



Takashi Takamoto

塚本 卓

NPO 法人

「気仙沼まちづくり支援センター」

まちづくりの意識が若者に広がるのは本当に大切なこと。「まちが好き」という言葉は大人にとっても心強く、勇気づけられます。また、地域外の人でも気仙沼に目が向くので、本当に価値のある活動だと思います。Youth のこれからが楽しみです。



Miki Yoshida

吉田 美夏

一般社団法人コ・エル

立ち上げ当初から見えています。高校生一人一人の成長に非常に驚かされます。本当に面白い活動だと思います。Youthの活動を通して被災地としての気仙沼ではなく、また別の印象の気仙沼になるような気がします。今後が楽しみです。



Kyoko Sakamoto

坂本 京子

コロちゃんコロツケ

まちを元気づけ、勇気づけるみなさんの活動は本当にすばらしいと思います。これからも頑張ってください。

農業部

『農業を通じて食の意識を底上げする』をテーマに、栃木県茂木町での農作業体験を通じた「農業」・「食」への関心と、継続的な活動による参加者間のコミュニティの育みを応援しています。



Shigetaka Yoshimatsu

吉松 茂貴

39才

公務員

想像して下さい…

清みわたる空、四季折々の棚田、静かに見守る木々たち。

都会の生活で忘れかけた何かを発見できる場所。そして、自然と集う仲間との素敵な出会い。

魅力溢れる里山は、あなたのお越しをお待ちしております！！



その他の活動

スタッフによる講演会、子ども会議、イベントなどの活動を定期的に行っています。



Hiroaki Yabe

Takafumi Narumiya

YUSUKE SAITO



2014 年度活動予定



野田 篤秀 *Atsuhiko Noda*

はじめまして。2014年4月より底上げのスタッフとなりました、野田篤秀と申します。先月大学を卒業し、気仙沼に入る事になりました。学生時代は教師になるために教職課程を学んでいました。しかし、勉強を重ねれば重ねるほど、自分の経験と知識の浅さを痛感しました。この社会問題が多い時代を生きる子ども達に対して、伝えられることがあまりにも少なすぎることを懸念しました。そこで、この場に身を置き、教師になるまでの間、多くの経験を積む事ができればと思います。至らぬ点は多々ございますが、どうぞよろしくお願い致します。

さて、底上げの新拠点の活動を紹介致します。場所は南三陸町です。写真にもある通り、さんさん商店街の裏にあるさんたらう館で中高生のためのフリースペースを開放しています。集まる高校生たちは「Com」という団体を立ち上げました。「まちに何ができるのか」というテーマで活動中です。ワークショップをしたり、フィールドワークをしたり、のんびりしたりしています。木造のさんたらう館は入るなり木の香りが全身を包み込み、窓越しに降り注ぐ陽が私たちのことを照らします。穏やかでありながら生き活きと心を弾ませる日々を中高生たちと送っています。



佐藤 美南 *Mina Sato*

17歳 志津川高校2年

Comを通して私たちが思う「キラキラした町」南三陸を創っていくために私もメンバーもいつもキラキラしたいです。自分の想いを行動に移していけるこの活動はとても好きなのでこれからも続けていきたいです。

佐々木 莉奈 *Rina Sasaki*

16歳 志津川高校2年

さんたらう館へはみんなとお話するために行ってきます。これからも、いろいろな人たちと触れ合えたらいいと思います。

佐藤 可奈子 *Kanako Sato*

16歳 志津川高校2年

Comの活動をして沢山のことを学べました。モアイを調べたら、南三陸町民でも知らないことばかりでした。ちょっと違う人に自慢できたりして…まだできてほやほやな団体のComですが精一杯頑張ってます!!四人で楽しくやっています。わたしはComに入ってよかったです!!なによりも、南三陸町の事を調べるだけで南三陸町のためになっていることがわたしは嬉しいです。



底上げ関係者からのメッセージ vol.1



Takafumi Narumiya

成宮 崇史

30 歳

NPO法人底上げ事務局長

時間と共に確かに形になっていく思い。それをみんなで強く感じた底上げ Youth の 1 年間になりました。学業を含め、多くの悩みを抱えながらも全員で協力してより良い形を探索し、必死に努力してきました。その集大成の一つとも言える「第 1 回 詠う幸せ 恋人の旅」は大成功に終わり、底上げ Youth の活動が確実に気仙沼に大きく寄与し、周りの方にも認めてもらえるものとなりました。

また、1 年の時からずっと活動を続けてきた 3 年生のメンバー達。底上げ Youth 初の卒業生達となりました。卒業パーティーでは、保護者の方に活動を知っていただくこともでき、全員が同じ想いで涙を流した最高の時間となりました。彼ら、彼女らがずっと抱えてきた気仙沼への熱い想いは確かに後輩たちに受け継がれました。新たな仲間も加わり、底上げ Youth の想いは少しずつ、でも大きな意味を持ちながら広がりを見せています。希望であり未来である底上げ Youth のメンバーと共に、これからも全力で気仙沼のために頑張ります。



Ami Miura

三浦 亜美

18 歳

日本大学 1 年生 底上げ Youth 第一期代表

底上げ Youth は気仙沼の高校生が自分の地元を「観光」という切り口で考え、まちを盛り上げる活動を行っています。しかし私は、地元気仙沼が好きだったわけではありません。それでも活動に参加したのは自分の想いを話し、聞いてくれる場と仲間がいたからです。仲間と気仙沼の新たな魅力を発見するたび、私は気仙沼が大好きになっていきました。そして Youth メンバーと全国に気仙沼の良さを発信していきたいと思うようになりました。現在は多くの方の協力と応援をいただいています。今後も活動を続け、たくさんの方に気仙沼に来ていただきたいです!!



Keiji Sato

佐藤 慶治

21 歳

東北福祉大学 3 年生 底上げ YOUNG 代表

Com 大学生のスタッフの佐藤慶治です。僕は底上げ YOUNG という団体に南三陸町へのツアー企画などの活動をしてきました。

今までは「機会を提供する」側でしたが、これからは南三陸町の後輩のために動きたいと思っていたので、こうして大学生スタッフとして関わることがたまらなく嬉しいです。同町出身の先輩として、行動している者として、後輩達に繋がられるものがあればと思っています。泥臭く突き進むスタイルを Com でも実践していきます!



Katsuyoshi Iwai

岩井 克義

17 歳

気仙沼高校 3 年生 底上げ Youth 第二期

僕は底上げ Youth に入ったことで、まだ知らなかった気仙沼の問題点や課題や、それとは逆の眠っている魅力などのキラキラした部分に出会うことができました。このことで、さらに気仙沼が大好きになりました! また、交流会などのイベントで大学生や他地域の高校生と出会い、話し合うことで、自分の価値観や視野を大きく広げることができました。これからももっともっとたくさんの方の気仙沼の魅力やいろいろな人に出会って、将来に活かしていきたいです。



底上げ関係者からのメッセージ vol.2

+++++



Ryoma Kokuta

穀田 竜馬

15歳

仙台育英高校1年生 学習コミュニティ支援参加者

「自分を強くしてくれたもの」

自分はサライに1年生の時から通っていました。最初は勉強するために行っていたのですが、そこには面白い人達が一杯でほかの事なども教えてもらいました。大変な事などもボランティアの人達が真面目に答えてくれたりしました。サライにきている色々な話し合いや体験をすることが出来ました。毎週の楽しみになっていました。いま自分は色々な事を抱えています、なるさんたちが気仙沼を底上げしているように自分もこの三年間を底上げしていきたいと思います。親元を離れて母さんなども心配なのですが、強くなってきた自分を見せて安心させたいです。いろんな面で考えることが出来るようになったのはサライの皆さんのおかげなので、本当に家族みたいな存在でした。みなさんに出逢えて幸せでした。これからも気仙沼の底上げ頑張ってください！

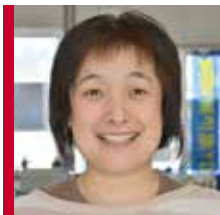


Yuko Abe

阿部 裕子

観光コンベンション協会 職員 底上げ Youth メンバー保護者

子どもの若くて有り余ったエネルギーの方向を決めていただけたと思います。気仙沼を良くしたい強い気持ちを形にしていこうという動きをサポートしていただいたことは、親にはできないことでもあって、本当に感謝しています。多くの経験もすることができ、育ててもらった所もたくさんあります。これから底上げ Youth も大きくなって、高校生のアイディアが町づくりに反映される気仙沼になっていってほしいなと思います。



Yumiko Onodera

小野寺 由美子

小野寺商店 店主 地域のサポーター

幼い頃から知っている子が、震災を経験してもそこから立ち上がって気仙沼を良くしていこうと頑張っている姿は、強くたくましく感じました。自分達で何かを作り上げていくエネルギーはとてもすごいです。また、地元の子供達に対する純粋な気持ちから、それをサポートして、きっかけの場所を作った「底上げ」のみなさんにも感謝しています。これからも応援しています。



Mei Tominaga

富永 めい

24歳

底上げ農業部スタッフ

今年で3年目を迎えた農業部は、新たな体制で運営中。関東在住の、OL・起業家・デザイナー・市役所職員・サラリーマン・学生・主婦のみなさまなど、様々な職種のひとつたちが、ここ栃木県茂木町に集い、田んぼを耕しています。田んぼで感じる、自然との繋がり。田んぼで出会う、様々な価値観。田んぼで築かれる、農のコミュニティ。そんな場所です。そしてなにより、今年もみんなで美味しいお米を、つくるぞー！！

メディア

2013 年

日付	メディア名	見出し／番組名／出演者
6 月	WEB マガジン greenz	
7 月	三陸新報	イベント欄
	東北復興新聞	
	Yahoo! ニュース	
8 月	読売新聞	
	毎日新聞	地域の元気
	河北新報	
	SWTJ 季刊誌 obi	
9 月	FORTUNE 宮城	のびゆく芽たち
11 月	東北復興新聞	特集 はばたく高校生
	KRA フリーペーパー いどばた	
	河北新報	リアスの風
12 月	SWTJ 季刊誌 obi	
	FORTUNE 宮城	
	子どもの権利条約ニュースレター	
	河北新報	河北春秋

2014 年

日付	メディア名	見出し／番組名／出演者
1 月 4 日	日本経済新聞	愛里ちゃん 2020 年の顔
1 月 9 日	三陸新報	MyProjectAward にて全国 1 位
1 月 17 日	三陸新報	南三陸、大船渡の高校生と交流会
1 月 18 日	テレビ朝日	「人生の楽園」楽園通信
2 月 4 日	三陸新報	東北の美しい未来を考えるフォーラム in 気仙沼 パネリスト紹介：阿部愛里
2 月 4 日	オルタナ S	底上げ Youth 活動内容について
2 月 9 日	三陸新報	東北フォーラム：阿部愛里、鈴木紗也香
2 月 27 日	三陸新報	恋人ツアー宣伝
2 月 28 日	三陸新報	卒業ライブでの底上げ Youth 宣伝
3 月 9 日	NHK	「東北発☆未来塾」生放送
3 月 11 日	TBS	ニュース 23 特番渡辺謙特集
3 月 11 日	J-WAVE ラジオ	
3 月 11 日	北海道新聞	
3 月 13 日	岡山ケーブルテレビ	「K ビジョン」阿部愛里特集
3 月 16 日	三陸新報	恋人の旅
3 月 16 日	河北新報	恋人の旅
3 月 16 日	読売新聞	恋人の旅
3 月	早稲田塾 (ユメビト)	成宮崇史
4 月 3、8 日	NHK 明日へ 1min	「未来への芽」「詠う幸せ恋人の旅」
4 月 2 日	オレンジページ	「つながって広がって」
4 月 3 日	machinet	「底上げ」
4 月	東京ボランティア市民活動センター	「ネットワーク」リーフレット宣伝
4 月 11～17 日	日本テレビ	「news every」東北高校生未来会議：岩井克義、三浦真子

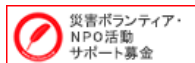
収支報告／助成・寄付団体

助成・寄付団体

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

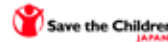
科目	仮設住宅に住む被災者に対する支援事業	被災者の自立支援事業	ボランティアの需要と供給の創出事業	農業事業	事業部門合計	共通	管理部門	合計
I 経常収益								
受取会費	0	0	0	0	0	23,000	23,000	23,000
受取寄付金	379,000	204,051	0	0	583,051	3,073,858	3,073,858	3,656,909
受取助成金	1,392,500	1,492,500	0	0	2,885,000	0	0	2,885,000
事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の収益	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	1,771,500	1,696,551	0	0	3,468,051	3,096,858	3,096,858	6,564,909
II 経常費用								
給料手当	299,204	2,099,204	299,204	0	2,697,613	906,680	9,067	2,706,680
会議費	2,586	38,650	2,586	0	43,821	7,835	78	43,899
旅費交通費	218,790	1,106,300	182,790	24,000	1,531,879	553,908	5,539	1,537,418
通信費	61,270	94,228	61,270	0	216,767	185,666	1,857	218,624
消耗品費	27,205	310,498	25,036	0	362,738	75,866	759	363,497
水道光熱費	99,382	120,380	99,382	0	319,143	301,157	3,012	322,155
新聞図書費	12,084	8,066	6,666	0	26,816	20,200	202	27,018
支払手数料	113,713	116,653	113,713	0	344,078	344,584	3,446	347,524
車両費	179,534	250,534	142,534	100,488	673,090	431,921	4,319	677,409
地代家賃	246,552	315,802	196,152	0	758,505	594,399	5,944	764,449
保険料	49,672	119,829	49,672	0	219,172	150,520	1,505	220,677
租税公課	13,721	14,321	13,721	0	41,764	41,580	416	42,180
雑費	26,771	26,771	26,771	0	80,312	81,123	811	81,123
印刷製本費	26,633	214,544	25,383	0	266,559	76,917	769	267,328
謝金	4,356	24,356	4,356	0	33,068	13,200	132	33,200
研修費	10,233	45,013	10,233	0	65,480	31,010	310	65,790
業務委託費	0	160,000	0	0	160,000	0	0	160,000
経常費用計	1,391,704	5,065,147	1,259,467	124,488	7,840,805	3,816,566	38,166	7,878,971
当期経常増減額	379,796	(3,368,596)	(1,259,467)	(124,488)	(4,372,754)	(719,708)	3,058,692	(1,314,062)
III 経常外収益								
受取利息	0	0	0	0	0	0	368	368
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	368	368
税引前当期正味財産増減額	379,796	(3,368,596)	(1,259,467)	(124,488)	(4,372,754)	(719,708)	3,059,060	(1,313,694)
法人税、住民税及び事業税						74	74	74
当期正味財産増減額						(1,313,768)	(1,313,768)	(1,313,768)
前期繰越正味財産額						3,498,081	3,498,081	3,498,081
次期繰越正味財産額						2,184,313	2,184,313	2,184,313

助成・寄付団体



みんなでがんばろう●日本

公益財団法人東日本大震災復興支援財団



公益社団法人宮城県観光連盟



NPO法人 底上げについて

所在地

〒 988-0023 宮城県気仙沼市南ヶ丘 1-2-12
TEL 0226-25-9670 FAX 0226-25-9670
Email info@sokoage.org

<http://www.sokoage.org/>

facebook でプログラム情報を配信中！

NPO法人 底上げ
底上げ Youth
底上げ農業部

運営体制

代表	—————	矢部寛明	理事	—————	前田祐佳
副理事長	—————	齋藤祐輔			野間口侑基
理事、気仙沼事務局長	——	成宮崇史			齋藤裕輔
気仙沼スタッフ	—————	野田篤秀			中野健二郎
インターン	—————	矢野大地			天貝祐樹
		宮本一輝			金指了
		大前拓也			喜内尚彦
			監事	—————	戸越正路
			税理士	—————	滝澤正樹
			顧問弁護士	——	横井良

Special Thanks 底上げにかかわる全てのみなさま



皆様からご支援頂いた寄付金は、復興支援事業、学生教育プロジェクト、交流事業、田植えプロジェクトに使わせていただきます。

NPO法人底上げの活動にご賛同頂ける方からの温かいご支援をお待ちしております。

ゆうちょ銀行

支店名：八一八支店
口座名：特定非営利活動法人底上げ

- ゆうちょ銀行口座をお持ちの方
記号：18180 番号：11680621
- ゆうちょ銀行以外の口座からお振込の方
店番：818 口座番号：1168062



ソコアゲ

